

安全と環境を考えるニシオの広報誌

安全くん

2001

Vol-5

53

もらい事故防止!

災害は、貰わず払おう安全対策!! の巻



インターネットホームページ
「安全くんネット」もご覧ください。

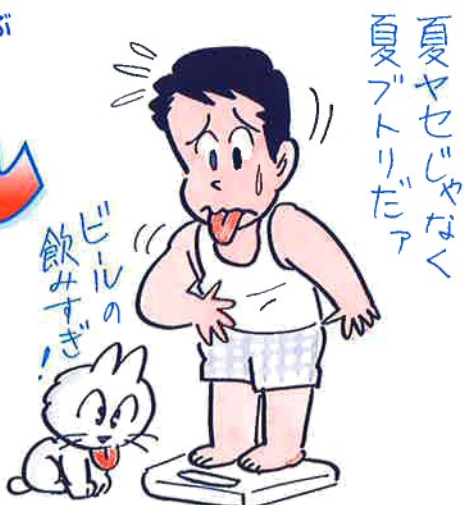
<http://www.anzenkun.nishio-rent.co.jp/>

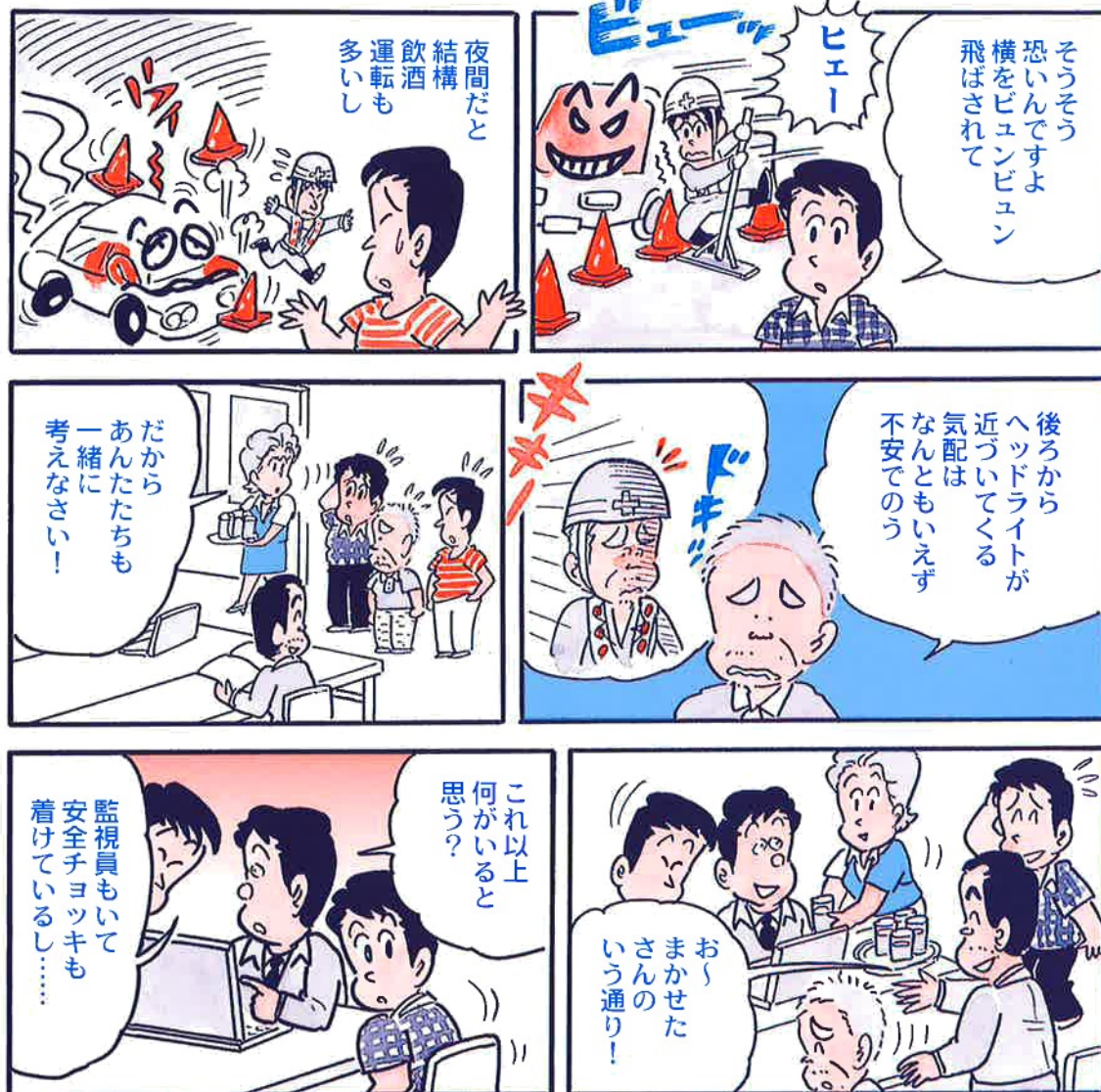
〈この広報誌は、再生紙を使用しています。〉

とれ行け!! 安全くん

画 中村よしのぶ

「もらい事故防止！
災害は、貰わず
払おう安全対策！」の巻





解説コーナー

国土交通省でもキャンペーンを実施 ～重機事故ともらい事故の防止～

■国土交通省では、各発注機関からのデータをもとに事故内容を分析した結果、3つのテーマを決め、2001年度の重点対策キャンペーンを展開しています。なお、この3つテーマ＝3大発事故とは、①墜落事故、②重機事故、③交通事故の3つを指していますが、今回は、②と③の内容を紹介します。

◆重機事故の防止策

- ・「誘導なしではバックしない」のステッカーを業界団体に配布し、各団体でもステッカー運動を実施してオペレーターの安全意識の向上に努める。
- ・誘導員配置の徹底、重機と人の行動範囲の分離などにも取り組み、接触・はさまれ事故の低減を目指す。

◆交通事故の防止策

- ・道路工事における「もらい事故の低減」に重点を置いて対策を講じる。
 - a. 一般車両突入時の被災軽減の強化＝衝撃吸収防護体（クッション材）の設置など。
 - b. 交通整理員の視認性向上と適正配置＝整理員の服装改善、ロボット化の推進など。

◎ニシオでも、このような動きに対応して重機用安全補助検知器、衝撃緩和装置付の規制車「タフバリヤ」エアバルーン式照明装置「ルミエアー」をラインナップし、さらに今回「工事用仮設信号車」や「LED情報パネル」も開発導入することになりました。（詳細は、9・10ページをご覧ください。）

ガンさんのワンポイントレッスン

「イチローの欠場」

- 毎日ニュースで取り上げられるほどの活躍を見せているマリナーズのイチロー。しかし、時にはスタメンから外されたり、指名打者として守備につかない日があるなど、日本では見られないような扱いです。
- 大リーグは、試合数の多さや移動距離も大きいことから、体調やメンタルな面でのコントロールが難しいことは分かります。しかし、ファンも多く攻守そろったスタープレーヤーをわざわざ休ませるのは…?
- イチローと比べるものかどうかと思いますが、私たちも疲労が溜まっていたり、前日の失敗や個人的な悩みなどによるストレスなど、体調や精神状態も不安定なものです。また、毎日毎日、会社や家族からの期待を受け、良い仕事、安全な作業を続けていかなばならないプレッシャー。さらに厳しい経済情勢の中での生活不安など、心身ともにベストな状態を維持することは非常に困難になってきています。
- それだけに現場を任されている職長は、部下がノッテイル時とはどんな言動をするのか、イマイチの時はどんな変化があるのかをよく把握し、作業内容・担当場所の変更、組む相手の変更など、ちょっとした気遣いをしてあげてほしいもの。あくまでも本人のためですが、作業全体の進行や安全からみても、正しいと思ったことは、勇気をもって実行してください。
- さて、今年も10月1日から7日までを労働衛生週間（9月は準備月間）として、各事業所で様々な活動が行われます。今年の全国スローガンは、「新世紀標準！健康で笑顔あふれる快適職場」です。イチローやメッツの新庄の事例を話題に、休ませ方や適材適所に留意し、快適職場づくりをお願いします。



キャブタイヤ施設時の安全点検！～良質な電源は正しい施設から～

現場の仮設電源に使われるキャブタイヤは、絶縁体の上にさらにキャブタイヤゴムを被覆したもので普通のビニールコードよりも丈夫ですが、路面をはわせたり、長尺で使用する場合は次のポイントに注意してください。

直に踏まない！

車両が通行する通路にははわせる場合、直にはわせると通行車両の荷重により線が断線短絡し、出火したり負荷側のモータへ定格電流が流れず過負荷となり機器の故障を招きます。必ず耐圧のコードプロテクター等で養生をしましょう。

ケーブルは延ばして使う！

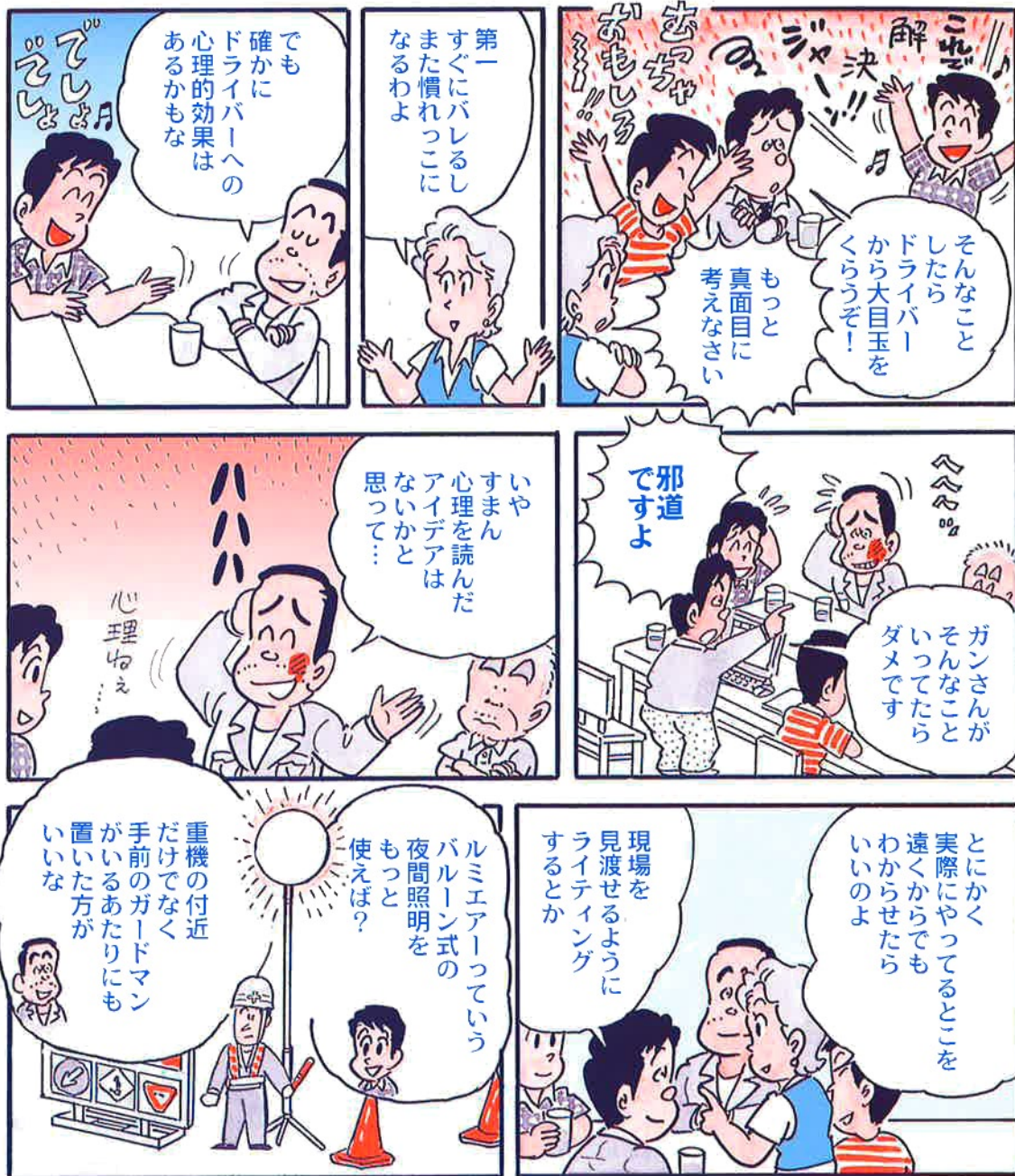
キャブタイヤは巻いたまま使うと電気の流れが悪くなり電流損失します。できるだけ延ばして抵抗を少なくするようにしてください。コードリールを使う際は、コード巻取りの全長でケーブル太さを選定。30mのコードリールを5m引き出して使う場合でもケーブル長さは30mで算出です。

不要な配線は必ず始末！

使用しないキャブタイヤを結線したまま端子を露出させると、感電事故の元となるので、不要な配線は撤去しておきましょう。







測量機器の使用前点検！ ～三脚編～

測量はレベルやトランシットの点検・調整が重要ですが、付属品でもある三脚の点検も正確な測量を行うためには必要です。ここでは、簡単な点検についてまとめてみましょう。

■使用前の点検ポイント！

◎外観のチェック	三脚の各部に変形、凹みがないか 部品の欠損がないか（締付ネジ、石突等）
◎作動チェック	各脚がスムーズに伸縮するか 伸縮固定ネジが確実に締め、緩めできるか 三脚を据付けたときにガタがないか 定芯桿ネジにゆるみがないか 三脚の開閉がスムーズに行えるか

■使用後について！

機材を良い状態で維持するには、使用後の手入れも大切です。石突部分に付着した泥、コンクリート等は落とし、締付ネジ等の動作部は定期的に潤滑油を注しておきましょう。



